

次の文章を読んで設問に答えよ。

国語

戦中派は戦争について語りたがらないと先述しましたが、その理由については人それぞれです。

たとえば、敗戦を機に自分は生まれ変わったのだと考えることで、過去を全否定してしまいうケースです。過去の価値基準を全て捨て去り、戦後の価値基準にスムーズに移行できた場合とも言えます。このとき過去の自分とは、生まれ変わる前の忌々しい自分に他なりませんので、そんな頃の話を嬉々として語るはずがなく、必然的に口ごもりがらになります。

もう一つ多く見られるのは、戦前・戦後の断絶を直視したケースです。正義だった戦争や軍隊が、戦後では悪のゴングが一変するとともに、得体のしれない民主主義を押し付けられ、しかも抵抗なく受け入れようとする異常なまでの変わり身の早さに対し、違和感を持ち続けた人々のことです。(1)

この断絶を直視すれば、様々なレベルにおいて深刻な問題が姿を現します。問題が根深く、そして解決が困難であるだけに、戦争について語ることもまた難しくなってしまうわけです。

たとえばある文豪は、自分自身の断絶を問題視しました。あたかも戦前と戦後で分裂してしまったかのような自分に対し、どう考えればよいのかを自らに問い続けたのです。(2)

また別の文豪は、民主主義に対して疑問を持ちました。戦時中に正しいとされた正義が洗脳だとするならば、アメリカがもたらした民主主義もまた同様に洗脳ではないかという問いです。

そしてやなせ先生の場合、先に引用した「正義は或る日突然逆転する。正義は信じがたい」という言葉が象徴するように、正しさの消滅に直面していました。

「ニーチェは、信じ続けることができる真理がないニヒリズムの時代がきたと宣言する」と先述したように、まさにこれはニヒリズムそのものです。その理由が戦中派特有であることを **A** ば、「戦中派のニヒリズム」と考えてよいでしょう。

(3)

突然逆転してしまう正義が信用ならないならば、逆転しない正義を探せばよいはず。そこでやなせ先生が導き出した答えが、「飢えた人に食べ物を与えるという行為は、いつの時代でも正しい」というものでした。この考えが核となり、敵・味方関係なく、お腹がすいた人にパンをあげるヒーロー・アンパンマンが誕生したのです。

このアンパンマンが生まれた経緯については、それだけで十分に感動的なものです。間違いなく、ドラマ「あんばん」でも紹介されるに違いありません。(4)

しかし、ここで終わってしまうと、やなせ先生の思想は、せいぜい半分くらいの理解に留まってしまうはずです。なぜならアンパンマンがこの世に生を **B** た時、

戦中派・やなせかかしの苦悩はまだ癒えていなかったからです。それどころか、アニメの「それいけ!アンパンマン」の放送が始まった六十九歳の時点でもなお、ニヒリズムや信じがたい正義の問題は未解決のままでした。同アニメの主題歌で登場する「なんのために生まれて なにして生きるのか ことえられななくて さんなのはいやだ!」という言葉は、古希を目の前にしたやなせ先生の心の叫びなのです。こんな嘆きの声を **C** 人間が抱える問題が、解決しているはずがありません。(5)

そのことを説明するためのキーワードが「目的論」と「義務論」です。公共の教科書は次のように説明します。

「貧困に苦しむ人を助けよ」という行為について考えてみよう。Aさんは、「社会全体の幸福を増やすから」という理由で援助を支持している。一方、Bさんは、「貧困者のおかれた境遇を改善すること自体が義務だから」という理由で支持している。このとき、二人は貧困者の援助を支持する理由において異なっている。Aさんは、「行為がめざす目的によって行為の正しさを判断する」のに対し、Bさんは、「それ自体で正しい(不正な)行為がある」と考えている。

(中略) 前者(Aさんのケース)は「目的論」とよばれ、後者(Bさんのケース)は「義務論」とよばれている。

(開宮陽介はか著「公共」東京書籍、2022年)

目的論では、行為の正しさは目的によって決まります。正しい目的を達成するためであれば、その行為もまた正しいという図式です。



与える」という行為の正しさは途端に怪しくなります。

こうした疑問は、目的論を信ずる側から発せられます。安全な社会をつくるという正しい目的からすれば、その目的の達成を **E** 先ほどの行為は、正しくなくなるからです。

現代人からすれば、この目的論の方が親しみやすいと思います。なぜならば、私たちが生きる現代社会では、不当なまでに論理性・合理性の地位が高まっているからです。論理的な思考と目的のアイシヨウがよいのは自明であり、それ故に目的論もまた強い力を持つてしまったが現代だと言えます。

とある目的に向かつて、論理的・合理的に考えていくという思考スタイルに、現代人は慣れ切っています。仕事をすれば数多の正しい目的が降ってきて、それを達成するべく論理を **F** せるという日々は、今や日本中の至る所で見られる現象です。

しかし、やなせ先生も指摘するように、正義という名の目的は危うい。正しいと思つた目的に向かつて論理的に行動していたつもりが、実のところ自身を滅ぼすという事態だつてあり得ます。

この件について、作家の佐藤優による『学生を戦地へ送るには 田辺元「悪魔の京大講義」を読む』（新潮社）が大変に示唆的です。哲学者・田辺元のような狡猾で頭のよい扇動者の手にかかれれば、たちまち正義という名の目的は支配の道具になることがよく分かるからです。

同書では、田辺元の著作『歴史的现实』について解説がなされています。佐藤優はこの本の内容について「一人ひとりの命は有限だけれども、それが悠久の大義のために使われるのなら永遠に生きることになるんだ」というレトリックを指して、平たく言えば「国のために死ぬ」と言っていますと要約します。田辺の『歴史的现实』はベストセラーとなり、戦中派は感化されて特攻隊員になるわけです。もちろん、この本を丸ごと信じた学生もいれば、せめて納得する形で死ぬために信じることにした学生もいたはずであり、その程度は様々だったでしょう。

田辺元は、戦争末期には軽井沢にいました。戦時国際法で公使館・大使館への空爆は禁じられており、そして各国の公使館・大使館は軽井沢に疎開<sup>スル</sup>していたからです。「国のために死ぬ」と学生に言っておきな、自分自身は安全な軽井沢に避難していたのです。しかも敗戦を迎えると、まるで勝つ馬に乗るかのよう<sup>ハ</sup>に、「機海道としての哲学」なるベストセラーを出版するとすれば、もはや「杖舌」どころの

話ではありません。

一連の行為から推測できるのは、田辺元の真の目的は悠久の大義でも懺悔でも何でもなく「自分の利益の最大化」だということです。自分の得のために、その時々正義を悪用したわけです。拔群の知性と話術を駆使し、まるで人間を道具のように扱うことで、田辺元は戦前・戦後の断絶をもととせず、確たる地位を維持したと言えます。これではまるで、正義の仮面をかぶつた悪魔です。

アンパンマンの世界を体験できるテーマパーク「アンパンマンミュージアム」や「アンパンマン」こともミュージアム<sup>ニ</sup>では、奇妙な人形が売られています。アンパンマンの被り物をしたばいきんまん<sup>ニ</sup>と、ばいきんまんの被り物をしたアンパンマンが並んでいるのです。正義と悪は表裏一体であり、いくら正義に見えても違うかもしれないし、その反対に悪者に見えても正義かもしれないという、やなせ先生の思想が色濃く反映された人形です。

アンパンマンの被り物をしたばいきんまんとは、田辺元そのものです。そのような人間をたくさん見聞きしてきたやなせ先生は、目の前にある正義への警戒感が人一倍強いわけです。

弟の千尋が「特別任務」への志願を余儀なくされたこともまた、正義を疑うようになった一因でしょう。戦時中、やなせ先生の部隊が小倉にいたとき、二人はつかの間の再会を果たしています。

弟は小倉の旅館に泊まっていたので、ぼくは外出許可をもらって、弟が泊まっている旅館で、一緒に食事をしながら話しました。

聞く<sup>ニ</sup>と、海軍の特別任務につくので、最後の挨拶に来たと言っています。「なんでそんなものになったんだ」とぼくは怒りました。

若い将校を集めて「特別任務を志願する者は一歩前に」と言われたそうです。千尋は、「志願者は一歩前に」と言われて一歩前に出たのでした。

「お前そんなものに出るな」と言ったのですが、「みんなが出るのに出ないわけはないか」と言うのです。そんなバカな話はない。でも、行かずにはおれなかったでしょうね。

（やなせたかし著『ぼくは戦争は大きらい』小学館クリエイティブ、2013年）

こちらでもまた、負けず劣らず狡猾です。

特別任務の志願は、「国のため」という正しい目的を果す行為です。そんな正しい行為を自ら為そうとする隊員が一人、一歩前に出た途端、前に出なかつた人間は罪人も同然でしょう。「みんなが出るのに出ないわけにはいかない」とする弟の心情は致し方ありません。例外的に自由な校風で学んだ経験のあったやなせ先生なら拒否できたかもしれませんが、当時の常識と照らし合わせればそれも難しいと思います。

田辺元がしたことと同型の出来事が、戦時中には各地で見られたのでしよう。正義の名の下に大切な弟が死んでしまった経験が、正義を疑う心をやなせ先生により強く植え付けたのは想像に難くありません。

ここで、正義について整理してみます。

Ⅰ 目的正義は、Ⅲ①から生まれます。正しい目的を達成するための行為や、善い帰結をもたらす行為を正義とみなすわけです。この目的や帰結の善悪は変わる可能性があるため、必ず正義もまた変わり得ることが宿命づけられています。

もう一つの正義は、Ⅲ②から生じます。目的や帰結とは切り離された世界において、ただ単に正しいと思える行為が正義だと考えます。「一なら」とか「一のために」といった条件が全く生じない行為のことです。世の中がどう変わるうが、そしてそのことで自分自身が傷つくことが分かっているようが、それ「にもかかわらず」行為せずにはいられません。

やなせ先生がたどり着いた境地は、後者の考え方です。だから、目的は不要なので。主題歌にある「Ⅳ①」という問いに返答できなくても、「Ⅳ②」という問いには返答可能であり、それで十分だということです。

名誉や金銭の獲得、カイヤクの追求といった目的に縛られることなく、自分が「Ⅳ③」を決めるという意味では、この状態は自由です。無論、田辺元のような知識人に道具のように利用されることもありませぬ。

このカントが考えた自由もまた、やなせ先生が体現した自由と大変にシンワセイがあります。やなせ先生はカントの本を一ページも読んだことがないと言っていますが、両者の考えには共通点が見られるわけです。

先述したとおり、アンパンマンが誕生した時点では、この義務論的な考え方は未完成であり、アンパンマンという作品のなかで成立しただけでした。つまり、肝心のやなせ先生自身は、まだこの考えを血肉化できておらず、迷いと戸惑いの

日々が当分続きます。

物江潤著「現代人を救うアンパンマンの哲学」(朝日新書)から

問一 次の文章は(1)〜(6)のどの段落の後に入っていたものか、最も適切だと思うところを選んでマークせよ。

それでは、そんな問題を解決に導いた鍵は何なのでしょう。最終的にやなせ先生は、どんな境地にたどり着いたのでしょか。

問二 空欄 A〜F には、次のどの動詞の活用形を入れるのが最も適切か、それぞれ一つ選んでマークせよ(同じ動詞を二度用いてはならない)。

1 戒める 2 受ける 3 考慮する 4 働く 5 阻む 6 漏らす

問三 空欄 ①〜⑤ には、次のどの言葉を入れるのが最も適切か、それぞれ一つ選んでマークせよ。

- |          |        |          |        |        |
|----------|--------|----------|--------|--------|
| ① 一方     | 2 さらには | 3 そこで    | 4 とはいえ | 5 もしも  |
| ② 1 仮に   | 2 そのくせ | 3 だとしても  | 4 つまり  | 5 なかでも |
| ③ 1 おまけに | 2 確かに  | 3 しかしながら | 4 それとも |        |
| ④ 1 かえって | 2 たたええ | 3 むしろ    | 4 もつとも |        |
| ⑤ 1 現に   | 2 それゆえ | 3 ところが   | 4 よって  | 5 わけても |

問四 傍線

イ、ニの本文中における意味に最も近いものを、それぞれの中から一つ選んでマークせよ。

イ 狡猾で—— 1 けちで 2 陰悪で 3 ずるくて

4 妬ましくて 5 無鉄砲で

ロ 感化されて—— 1 あこがれを抱いて 2 影響を受けて

3 心変わりをして 4 情にほだされて

5 万能感を覚えて

ハ 二枚舌—— 1 うそつき 2 偽善者 3 どろぼう

4 内通者 5 にせ者

ニ 余儀なくされた—— 1 完遂することになった 2 辛抱できなかつた

3 せざるを得なかつた 4 専念させられた

5 激しく望んだ

問五 傍線

a、e のカタカナと同一の漢字を使うものをそれぞれの中から一つ選んでマークせよ。

a ゴンゲ—— 1 厚化粧も個性の一つだ

2 ゲ戸だが宴会の雰囲気は好きだ

3 ゲ至を過ぎて、日が短くなってきた

4 ゲ毒剤のおかげで命が助かった

5 脳外科を受診している

b フヘン—— 1 おへん路の嗜好は独特だ

2 その政治家はへん節漢も非難された

3 へん頭痛に悩まされる

4 へん年休で書かれた歴史書

5 評価の高いへん礼品

c アイシヨウ—— 1 不シヨウ事の謝罪会員が放送される

2 作品を激シヨウされる

3 失恋に意気シヨウ沈する

4 曲がったシヨウ根を正してやろう

5 結果は一点差での半シヨウだった

d カイラク—— 1 カイ厳令が布かれた

2 チームはカイ進撃を続けた

3 カイ文書に皆は戸惑った

4 花柳カイの厳しきたり

5 厄カイ者として扱われる

e シンワセイ—— 1 確シン犯による事件だらう

2 彼の笑顔にシン近感を覚えた

3 シン空管も使われなくなった

4 シン天地を求めて転居する

5 平常シンを保つのは難しい

問六 傍線 あくお の漢字と同じ読み方をするものをそれぞれの中から一つ選んでマークせよ。

- |      |       |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| あ 象徴 | 1 情緒  | 2 挫傷  | 3 眉目  | 4 眺望  | 5 炎暑  |
| い 貧困 | 1 欣喜  | 2 謙虚  | 3 王冠  | 4 懇談  | 5 勳章  |
| う 妄当 | 1 実験台 | 2 音沙汰 | 3 忍耐力 | 4 不如意 | 5 地団駄 |
| え 悠久 | 1 浮揚  | 2 布告  | 3 封書  | 4 融通  | 5 芳香  |
| お 疎開 | 1 素顔  | 2 総督  | 3 倒壊  | 4 粗品  | 5 中樞  |

問七 空欄 I には、次のどの文を入れるのが最も適当か、一つ選んでマークせよ。

- 1 義務がもたらす善悪それぞれの価値は、成果次第で客観的に評価されるものです
- 2 結果に対する善し悪しの評価は、目的によっていかようにでも変わりま
- 3 結果に向けられる人々の共感には、その目的が崇高であるかに左右されるものです
- 4 正しい目的は、正しい結果によってもたらされるものと信じられていま
- 5 人間が持つ価値観は、目的と義務との間で左右されることはありません

問八 傍線 II の理由の説明として、最も適当なものを一つ選んでマークせよ。

- 1 危機意識を持ったとき、人は正義を目的とするから
- 2 正義のための目的は、敵対する者には都合が悪いから
- 3 正義は、目的のために悪用されることがあるから
- 4 正義を目的としたとき、人は危険を恐れないから
- 5 人によって正義は異なるため、目的は変わりやすいから

問九 空欄 III ①・III ② には、どの言葉を入れるのが最も適当か、適当な組み合わせを一つ選んでマークせよ。

- |          |        |         |        |
|----------|--------|---------|--------|
| 1 帰結主義   | 2 自由主義 | 2 ①合理性  | 2 論理性  |
| 3 ①善悪二元論 | 2 道徳法則 | 4 ①定言命法 | 2 仮言命法 |
| 5 ①目的論   | 2 義務論  |         |        |

問十 空欄 IV ①・IV ②・IV ③ には、どの言葉を入れるのが最も適当か、適当な組み合わせを一つ選んでマークせよ。

- 1 ①なにをして生きるのか ②なんのために生まれて ③なんのために生まれて
- 2 ①なにをして生きるのか ②なんのために生まれて ③なにをして生きるのか
- 3 ①なんのために生まれて ②なにをして生きるのか ③なにをして生きるのか
- 4 ①なんのために生まれて ②なにをして生きるのか ③なんのために生まれて
- 5 ①なんのために生まれて ②なんのために生まれて ③なにをして生きるのか

問十一 本文の内容と合っているものを一つ選んでマークせよ。

- 1 アンパンマンも、時にはばいきまん以上に悪とみなされることがある
- 2 飢えた人にパンを与えることは絶対的な正義であるとやなせ先生は考えた。
- 3 戦中派とは、戦争中にその推進に力を注いだ人物、またはその集団を指す。
- 4 ニヒリズムを信奉するニイチエは、善悪の不確かさをめぐって「仮言命法」と「定言命法」を提唱した。
- 5 やなせ先生の弟は特別任務に志願したものの、兄の反対との板挟みの中でついに翻意するに至った。